








201号隊舎蒸気ドレン回収ポンプ改修工事

件名	201号隊舎蒸気ドレン回収ポンプ改修工事						
図面名称	表紙			仕様書番号		17	
作成年月日			令和4年6月23日		図面番号	1/5	
業務隊長	管理科長	営繕班長	ボイラ係長	施設管理主任	管財係	設計	
							
所属部隊			久留米駐屯地業務隊管理科				

仕 様 書

1 件 名 : 201号隊舎蒸気ドレン回収ポンプ改修工事

2 場 所 : 福岡県久留米市国分町100番地 陸上自衛隊久留米駐屯地

3 概 要

- (1) 蒸気回収ポンプ新設 1台 (本体官給支給品)
 (2) 付帯工事 1式

4 一般事項

- (1) 本工事は本仕様書のほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」及び「防衛省共通仕様書(燃料施設等機械工事編)、ポンプメーカー仕様、その他関係諸法規を遵守し、実施するものとする。
- (2) 本工事の写真は、カメラ(カラー)又はデジタルカメラを使用し、作業前・中(各工程毎)・後、隠蔽箇所及び材料・機材等、監督官の指示する箇所を撮影し、工事前アルバム(A列4番縦)に整理のうえ、監督官に1部提出すること。ネガ又はデジタルカメラの電子データは、完成検査終了後、請負業者の責任において確実に処分又は消去すること。
- (3) 施工中、他の箇所に汚損又は破損等を及ぼした場合は、速やかに監督官に報告するとともに請負業者の責任において速やかに原状復旧するものとする。
- (4) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け、合格したものを使用する。
- (5) 本仕様書に記載なき事項といえども施工上当然必要とされる事項については請負者の責任において実施すること。
- (6) 作業中の安全管理には十分留意し、事故等が発生しないよう万全を期すこと。万一事故等が発生した場合は請負業者の責任において処置し、官側は一切の責任を負わないものとする。
- (7) 本仕様書及び作業に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議した後実施する。
- (8) 本工事で発生した発生材のうち、金属類については発生材調書を作成の上、監督官の指示する場所に修正するものとし、その他の発生材については、請負者の責任において関係法令に基づき適切に処分するものとする。
- (9) 本工事において使用する電気、水は請負業者が準備するものとする。やむを得ず部隊側の電気、水を使用する場合は、事前に監督官と協議した後、所要の手続きを実施し使用することが出来るが、使用に要した費用については請負業者の負担とする。
- (10) 工事受注に際しては、受注者が下請業者と工事下請負契約を締結し工事を施工完成させる場合は、監督官に施工管理体制台帳を提出し点検を受けるものとする。

5 特記事項

(1) 配管工事

ア 本仕様書の図面は、標準図とし、配管の施工に先立ち現地確認を行い、他の設備配管類及び機器との関連事項を詳細に検討し、勾配を考慮して、その位置を正確に決定する。

イ 工事の進捗に伴う吊り金物、支持金物等の取付を遅延なく行うものとする。

ウ 本工事に使用する配管種別は、下表によるものとする。

名称	記号	管の種類	接合方法
蒸気管	S	圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40・黒)	ねじ
蒸気還水管	SR・PR		
オーバーフロー管	OF		
排水管	D	配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ又は溶接
排気管	AV		

エ 横走り配管の吊り、支持等は吊り金物を使用する者とし、支持間隔2m以下とする。

オ 蒸気管及び蒸気還水管は保温前に漏れがないことを確認するものとする。

(2) 保温工事

本工事に使用する保温種別は、下表によるものとする。

なお、蒸気管の保温厚は防衛施設共通仕様書(燃料施設等機械工事編)に基づくものとする。

区分	記号	保温種別	施工箇所
蒸気管	S	b・(A)・II・B	機械室
蒸気還水管	PR	b・(A)・II	

(3) 塗装工事

本工事の配管塗装種別等は、下表によるものとする。

区分	塗料の種別	塗料の規格	塗り回数		
			下塗り	中塗り	上塗り
隠ぺい部(保温される裸管)	一般用さび止めペイント	JIS K 5621 2種	2		
露出部	一般用さび止めペイント	JIS K 5621 2種	2		
	アルミニウムペイント	JIS K 5492		1	1

(4) ポンプ工事

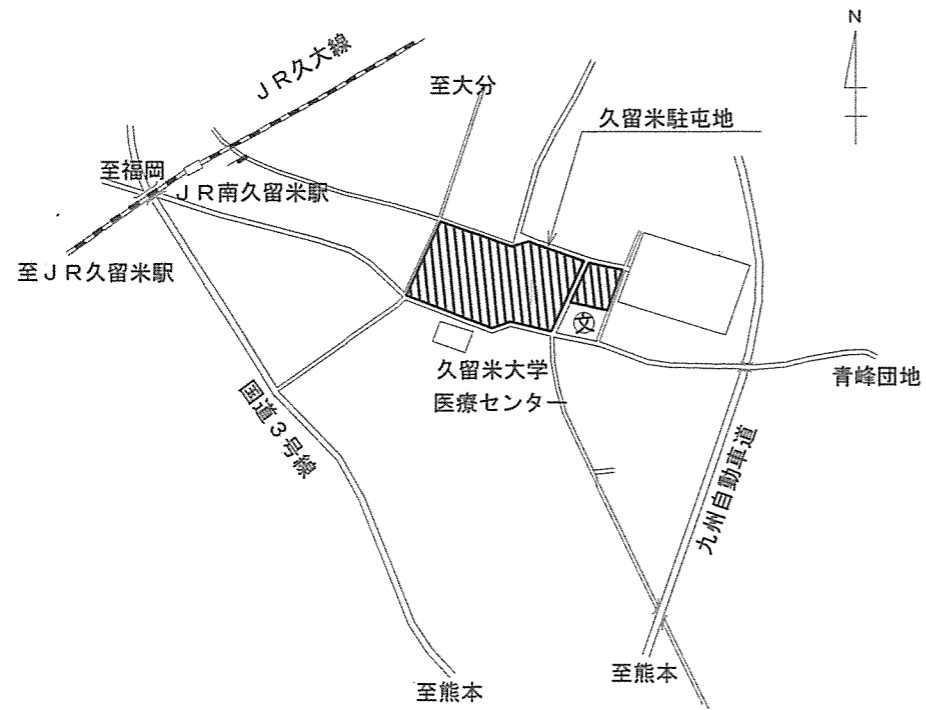
ア 本工事は官側が支給する蒸気ドレン回収ポンプを設置するものとし、ポンプの規格等は下表のとおりとする。

メーカー	規格	外形寸法	重量	評価額
スパイラックス・サーコリミテッド	MFP14型ユニット 50A	1,759×553×H1,472	304kg	1,678,600円

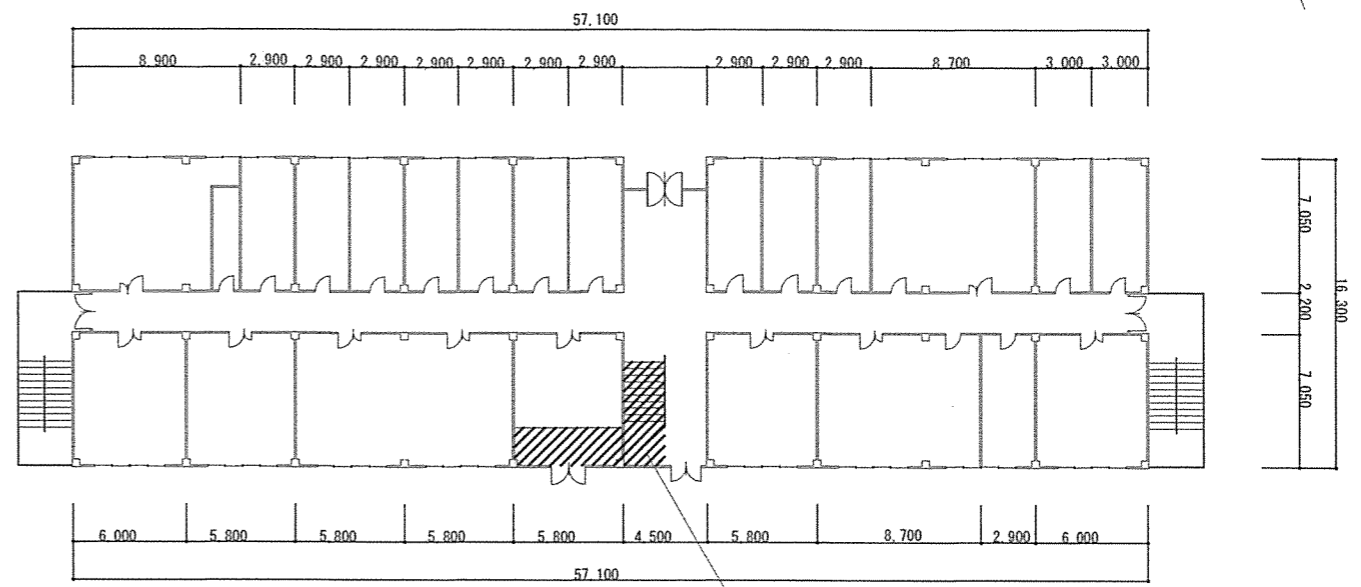
イ 蒸気ドレン回収ポンプは、駐屯地ボイラー室に保管している状態であり、請負業者により施工場所まで搬入するものとする。

ウ ポンプ及び配管工事完了後、ポンプの動作試験を実施するものとする。

名 称	201号隊舎蒸気ドレン回収ポンプ改修工事	図面番号	2/5
図面名称	仕様書	縮 尺	図 示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年6月23日	

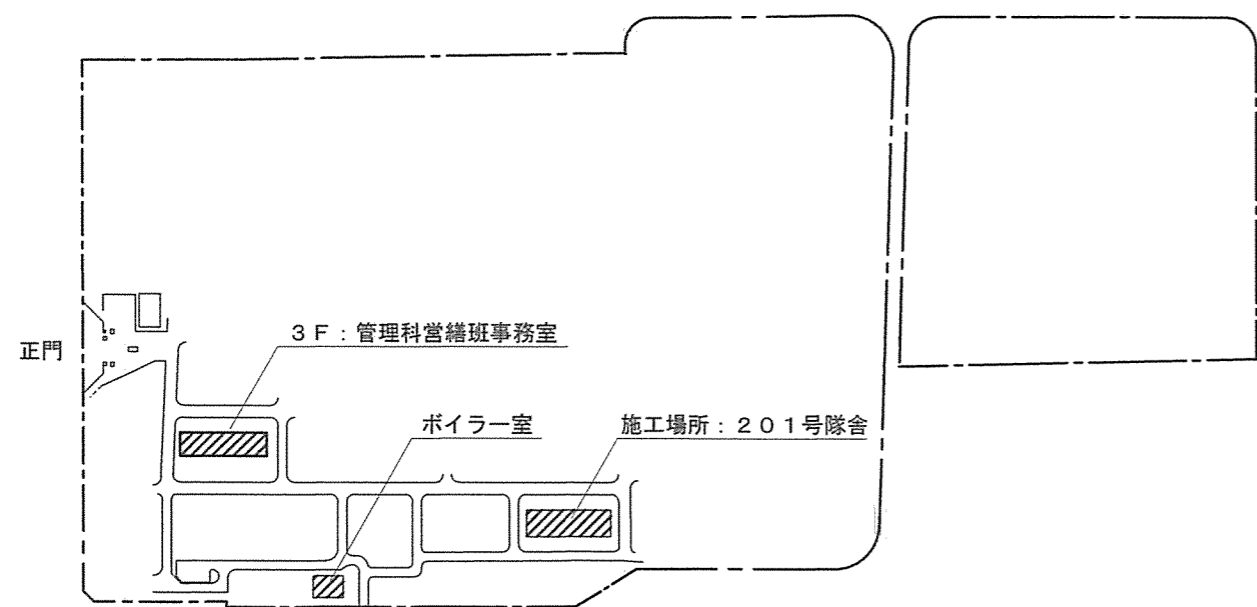


案内図 S=1/20,000



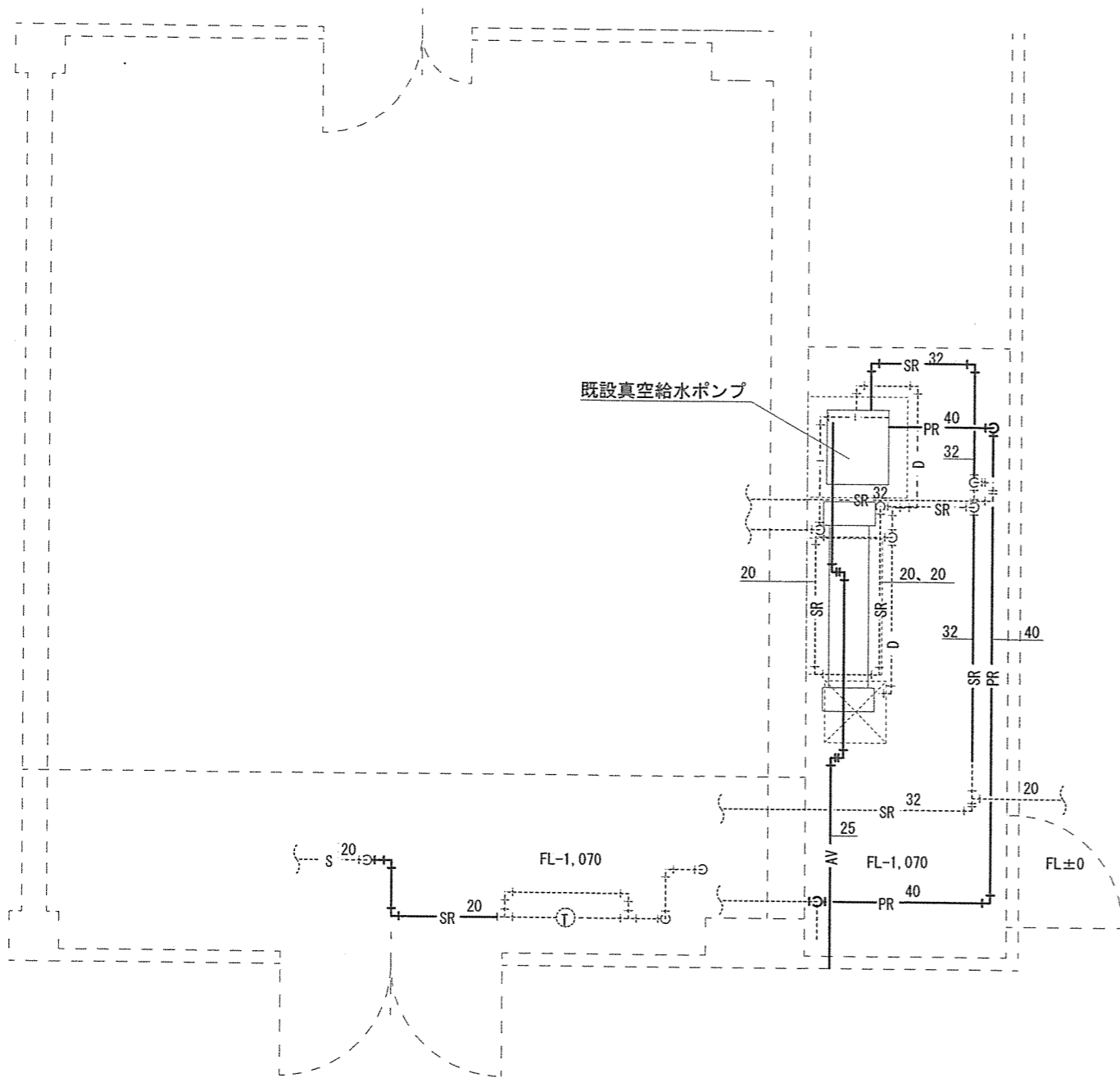
施工場所：階段下機械室・ピット内

201号隊舎1階平面図 S=1/400



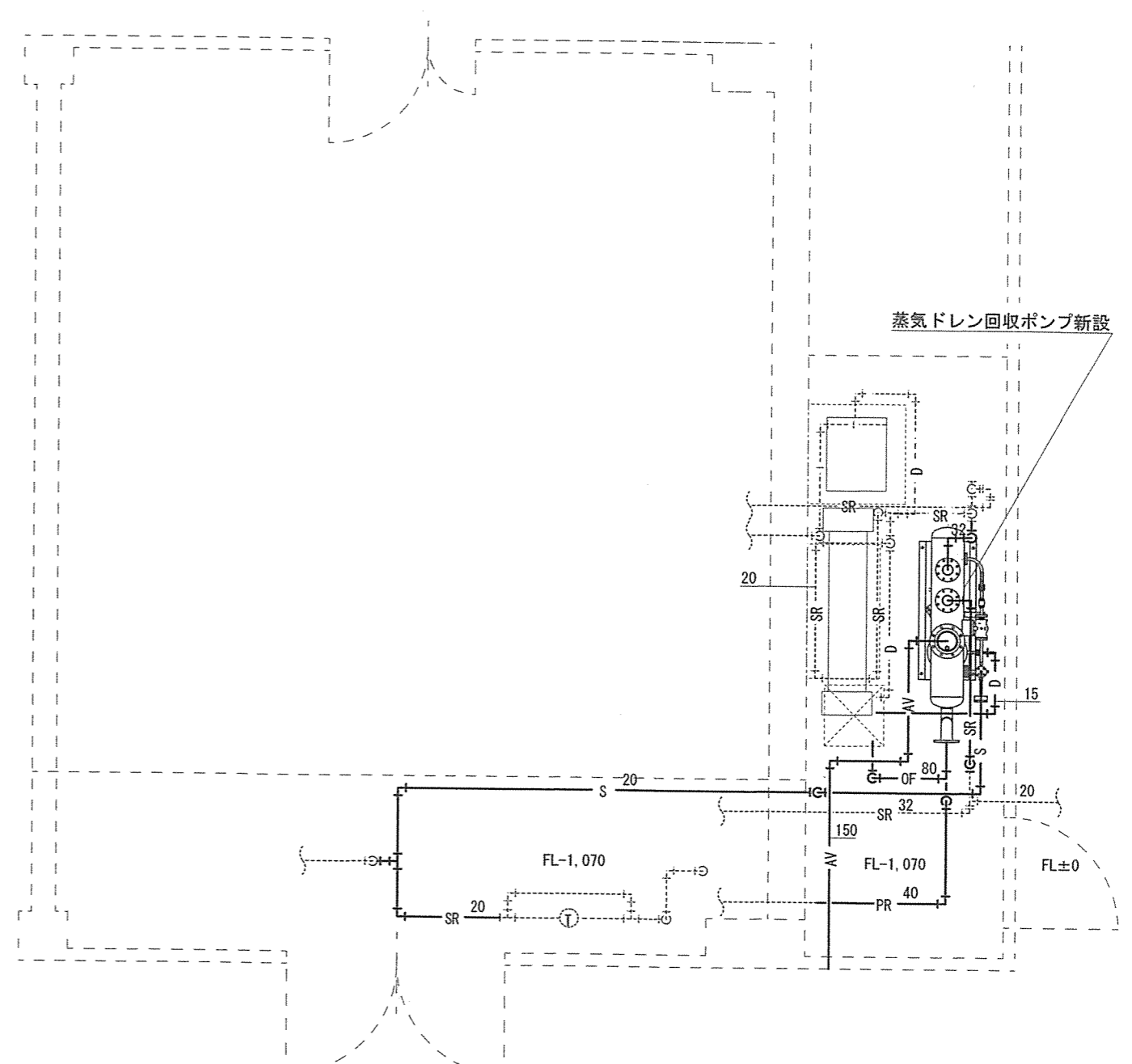
駐屯地配置図 S=1/5,000

名称	201号隊舎蒸気ドレン回収ポンプ改修工事	図面番号	3/5
図面名称	案内図・配置図・平面図	縮尺	図示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年6月23日	



現況配管平面図 S=1/50

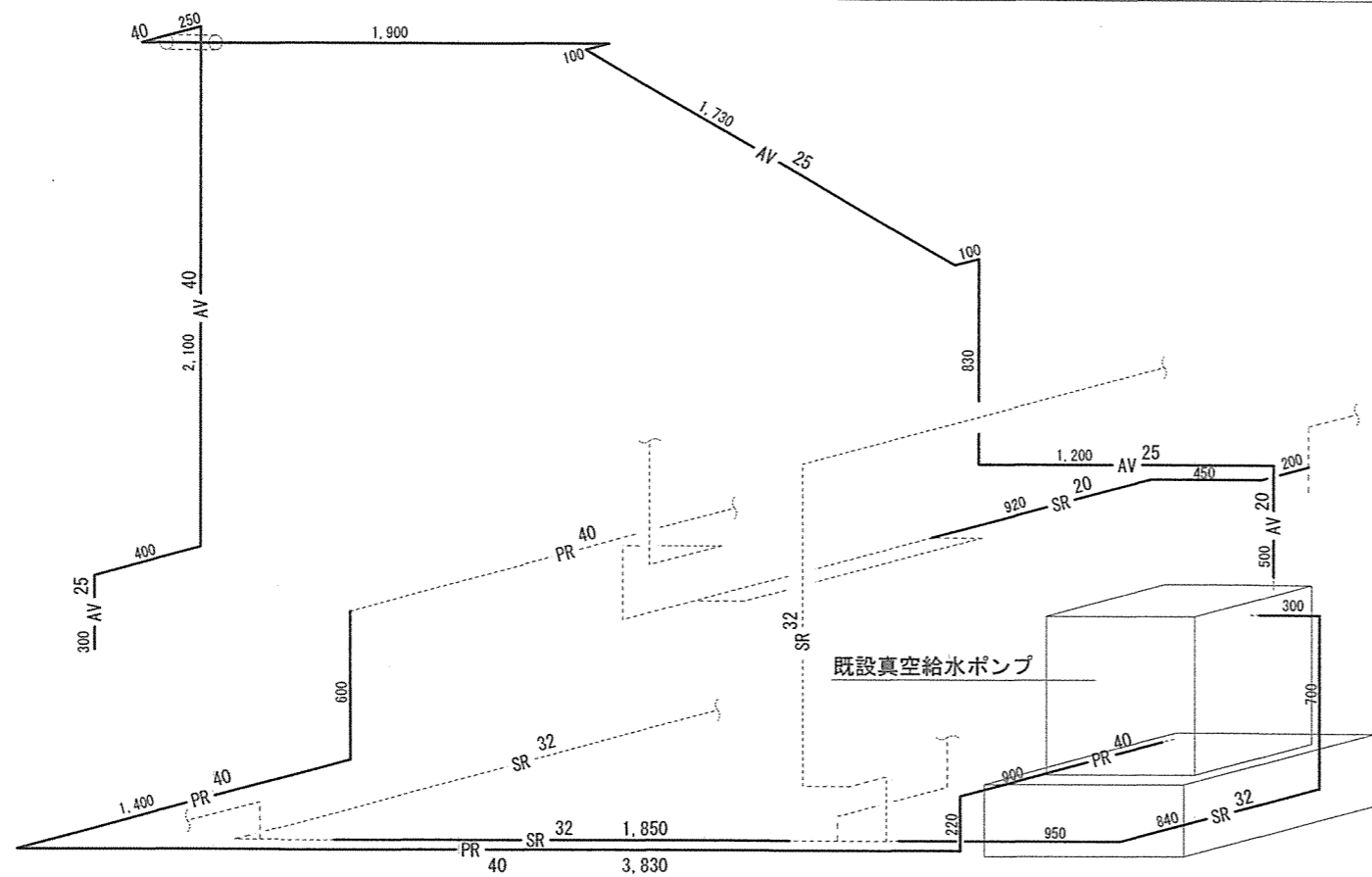
凡例
 — : 撤去範囲を示す



改修後配管平面図 S=1/50

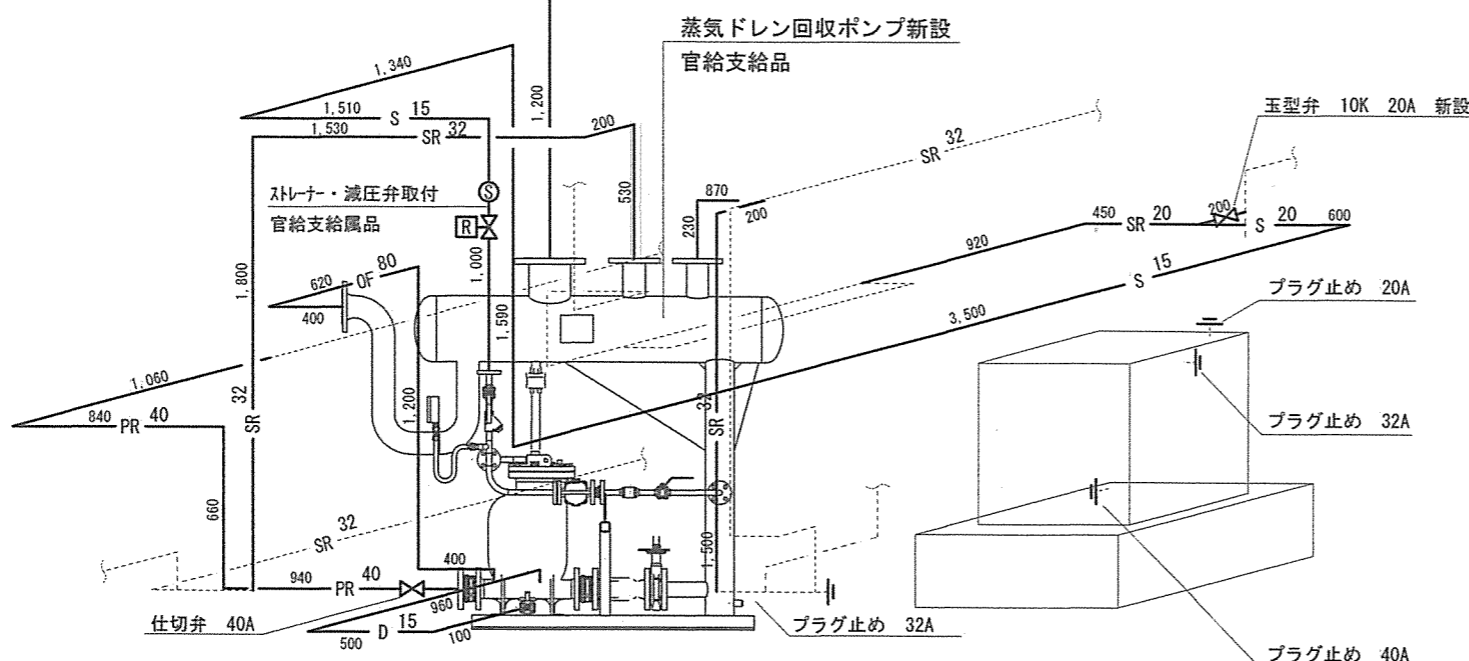
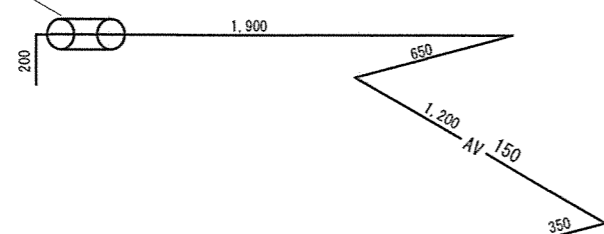
凡例
 — : 新設範囲を示す

名称	201号隊舎蒸気ドレン回収ポンプ改修工事	図面番号	4/5
図面名称	現況・改修後平面図	縮尺	1/50
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年6月23日	

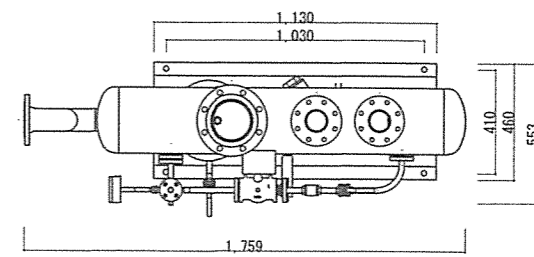


現況配管アイソメ図 S=1/30

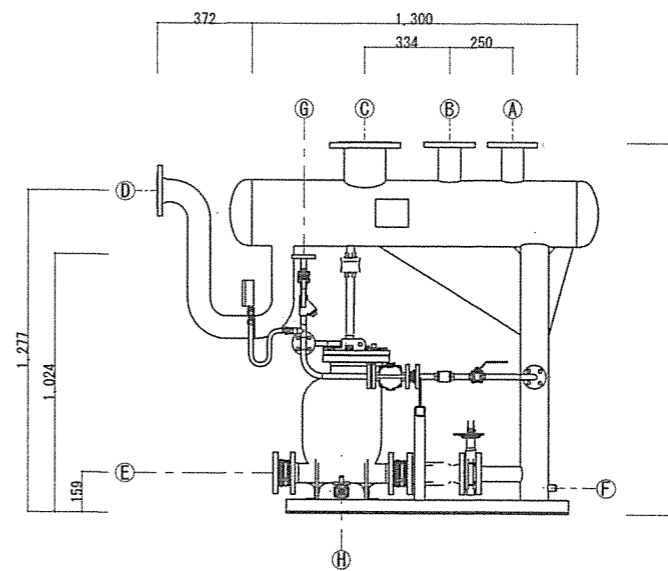
壁貫通 φ175 L=200m程度



改修後配管アイソメ図 S=1/30



新設蒸気ドレン回収ポンプ参考標準平面図 S=1/30



新設蒸気ドレン回収ポンプ参考標準立面図 S=1/30

接合部取合表

記号	名称	接続	口径	備考
A	ドレン入口	JIS10K	80A	
B	ドレン入口	JIS10K	80A	
C	大気開放出口	JIS10K	150A	
D	オーバーフロー出口	JIS10K	80A	
E	ドレン出口	JIS10K	50A	
F	ドレンプラグ	ネジ込ミ	25A	ブロー用
G	駆動蒸気入口	JIS10K	15A	
H	ポンプ水抜き出口	JIS10K	15A	ブロー用

名称	201号隊舎蒸気ドレン回収ポンプ改修工事	図面番号	5/5
図面名称	現況・改修後配管アイソメ図	縮尺	1/30
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年6月23日	